

第四拾條

但、廿五ヶ年以上ハ百八十日分トス

左ノ各項ノ一ニ該當スル時ハ退隱手當トシテ第參拾九條規定ノ金額ヲ支給ス

- 一、滿五ヶ年以上ノ勤績者ニシテ滿五十歳以上ノ年齢ニ達シ退隱ヲ許シタルトキ
- 二、業務上ノ負傷又ハ疾病ニ基キ退隱ヲ許シタルトキ
- 三、滿二ヶ年以上ノ勤績者ニシテ健康ヲ害シ業務ニ堪エザル爲メ退隱ヲ許シタルトキ

但、貳、參項ニアリテハ本社囑托醫ノ診斷書ヲ要スルモノトス

滿三ヶ年以上勤績ノモノ自己ノ都合ニ依リ退職ヲ許サレタル場合ニハ第參拾九條所定額ノ三分ノ一ニ相當スル金額ヲ退職手當トシテ給與ス

第四拾壹條

第四拾貳條

第參拾九條及第六拾六條ノ勤績年限ノ起算日ヲ松風陶器合資會社設立ノ日トス

第四拾參條

繼續缺勤滿三ヶ月以上ニ及ブ時ハ勤績年限ニ加算セズ

第四拾四條

從業員社用ニ依リ旅行スル時ハ實費ヲ支拂フモノトス

但、汽車、汽船ハ三等トシ他ハ之レニ準ズ

第四拾五條

本章ニ規定セル賃銀及給與ハ一ヶ年以内ニ之ヲ請求セザルトキハ其權利ヲ失フモノトス

◎第五章 扶助

第四拾六條

當社ノ從業員ニシテ業務上負傷シ疾病ニ罹リ又ハ死亡シタル時ハ本則ニ依リ扶助スルモノトス

但、負傷疾病又ハ死亡ノ原因タル事故ガ從業員ノ重大ナル過失ニ因リ事明白ナル場合ハ此限リニアラズ

第四拾七條

民法ニ依リ同一原因ニ付會社又ハ第三者ヨリ損害賠償ヲ受ケタル時ハ前條ノ規定ニ依リ扶助金額ヨリ之ヲ控除ス

第四拾八條

扶助ヲ分チテ左ノ五種トス

- 一、治療又ハ療養費支給
- 二、休業手當支給
- 三、扶助料支給
- 四、遺族扶助料支給
- 五、葬祭料支給

第四拾九條

從業員業務上負傷シ又ハ疾病ニ罹リ療養ヲ要スル者ハ當社ノ費用ヲ以テ治療ヲ施シ又ハ療養ヲ爲サシメ若クハ療養費ヲ支給ス